

生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に ～



#57 【一人一人の尊厳を大切にするために】

2月13日に開催した教職員研修会において、寺本教育長が、令和8年度の呉の学校教育について講話しました。その中で、安全・安心で信頼される学校を作るために「児童生徒一人一人の尊厳を大切にする教職員」であることの重要性について話がありました。

みなさんが子どもの頃、強く印象に残っている先生は、どんな先生でしょうか。おそらく多くの方が、授業の内容以上に、先生の温かい言葉やまなざし、困ったときにかけてもらった一言、話を最後まで聞いてもらえた経験など、つまり、自分が大切にされていると感じさせてくれた先生ではないでしょうか。



次の言葉は、学校現場でありがちな言葉かけです。それぞれ、「指示→対話に変える」「評価→理解に変える」「過去→未来に変える」ことを意識して言い換えてみることで、児童生徒が受け取るメッセージは変わります。

「いいから、やりなさい。」	→「どうやったらできそうか、一緒に考えよう。」
「おい、おまえ、ちょっと」	→「〇〇さん、今、大丈夫かな？」
「言い訳しない。」	→「順番に説明してくれる？」

忙しい日常の中だからこそ、私たちの何気ない言葉が、児童生徒の尊厳を大切にすることにつながっているかもしれません。

令和8年2月17日（火）

呉市教育委員会 学校安全課 生徒指導グループ

